国民主権 議会主権の確立を！

私たちには、あなたの力が必要です。

RIKKEN MINSHU
2019.2.11
号外
立憲民主
The Constitutional Democratic Press

実質賃金はマイナスに!?

埼玉県第１区総支部長（前衆議院議員）たけまさ公一

アベノミクス偽装　毎月勤労統計の不正調査問題は、2003年事務取扱要領を厚生労働省が全数調査を抽出調査とするよう変更した事が発端です。2015年にそうした記載が削除され、2018年からはデータ補正とともに調査対象や調査手法も大きく変えていた結果、昨年の現金給与総額が「対前年比3.3%増の高い伸び」との報告は「偽装されたのではないか」という疑いが生じました。

野党合同チームでは、昨年1月から11月の「実質賃金」の増減率を計算し直すと、大半の9ケ月分で前年比マイナスとなることを指摘し、厚生労働省側もその可能性を認めました。

ニッセイ基礎研究所の試算でもこの6年間の景気拡大期間の賃金動向は実質賃金では0.6%減としています。

また、データ補正される以前の雇用保険労災保険の過小支給額約564億円、対象者2015万人、30万事業所にのぼり、追加支給額に要する事務費は、約195億円、計795億円を新たに支出しなければなりません。特別会計からの支出は皆様の納めた保険料などの積立からとなります。

労災保険などの認定がなかなかされないため積立金が積みあがっていることは報じられています。今回の追加支給は当然としても、そのための事務費は無駄な支出です。

問題発覚後の厚生労働省特別監察委員会の調査により「組織的な隠ぺいはない」としましたが、官房長など同席のもとのヒアリングによる「お手盛り身内の」調査が明らかになった後は、特別監察委員会でも「組織的隠ぺい認めるべき」との指摘もされていいます。

基幹統計の4割で問題発覚　加えて、総務省(統計委員会を所管)の調査により、５６の基幹統計のうち7省庁２３の基幹統計で問題が発覚しました。国土交通省の建設工事統計は実態より過大な数値が公表されていました。国交省は、2017年度の施行高を1.6兆円減額し、対全年度比伸び率も14.9%から2.5%に下方修正しました。また、当初問題ないとされていた賃金構造基本統計でも毎月勤労統計同様に「こっそり調査手法を変え」「ひっそり修正」が行われていました。

基幹統計とは、2007年の統計法の全面改正で「総務大臣が指定する特に重要な統計」の事です。調査方法の変更などには、総務大臣の承認が必要ですが、毎月勤労統計は2018年に至っても「全数調査を行っている」との虚偽報告を続けていました。

国民の皆さんからも、政府統計信用できない78.8%(共同通信)との声が出ています。

政府統計は公文書と並び、政府の政策決定の基本であり土台です。それがいい加減では政策そのものが揺らぎます。民主主義の土台が森友学園加計学園問題に続き揺らいだと言えます。原因究明再発防止の徹底が急務です。

2019.01.30 早朝の駅頭活動

統計委員会を3条委員会に　2007年の統計法改正時、たけまさ公一は衆議院総務委員会筆頭理事として審議に臨みました。「統計は民主主義の根幹である」として審議時間を十分とることを求め。質疑にも立

ちました。今日に至る、全面改正の背景にある「統計調査を官から民に委託すること」については「終始、慎重な対応」を求めました。また、質疑では内閣府に置かれた統計委員会を総務省に移管することを求めましたが、この10年以上の間、各省各庁の基幹統計に「横ぐしを入れて」チェックする「司令塔」機能としての統計委員会が機能していたかも問われなければなりません。また、質疑では統計委員会の権限を高めるため国家行政組織法の8条委員会から3条委員会への格上げを求めましたが、いまだ、8条委員会のままです。

毎月勤労統計他22の基幹統計でも、統計委員会に報告がされずに調査対象や調査手法が変更されていた事実から、独立性の高い3条委員会に見直すべきと考えます。

健全な野党により五輪後の経済政策を

安倍一強政治のもとの経済政策が統計をゆがめて「偽装」され、賃金も前年度マイナスであるという疑いは、それを助長した野党にも責任の一端があります。

選挙イヤーの今年こそ、野党連携のもと経済財政金融政策の考え方を立憲民主党を中心に示していかなければなりません。

「個人、国民、地域重視」「財政再建と社会保障の両立」「徹底した情報開示」そして「国民主権。議会主権、立憲主義の確立」を立案してゆきます。「健全な野党がなければ民主主義の発展はない」との歴史の教訓はヨーロッパアメリカのみならず日本も同様です。

浦和区県議
浅野目 義英

見沼区県議
井上 將勝

浦和区市議
添野 ふみ子

見沼区市議
武田 和浩

立憲民主 埼玉県第１区

見沼区市議
三神 尊志

岩槻区市議
高野 秀樹

参議院埼玉県選挙区 公認決定

熊谷 裕人さん
現さいたま市議
大宮区選出

たけまさ公一地域懇談会

2月16日[土]
14:00～15:30
片柳コミセン

2月23日[土]
14:00～15:30
松木区画整理記念会館

3月2日[土]
14:00～15:30
南箇自治稲荷会館

3月9日[土]
14:00～15:30
岩槻駅東口ワッツ

3月23日[土]
15:00～16:30
元町３丁目自治会館

参加費 **無料**
どなたでも
ご参加いただけます。

今回のテーマ
災害対策・食の安全・水道
憲法・外国人・年金・教育
農業・道路・地下鉄 他

たけまさ公一のプロフィール

○昭和36年（1961年）生まれ
○木崎小・中学校／県立浦和高校
　慶應義塾大学法学部政治学科卒
○（財）松下政経塾　前衆議院議員
○元外務・財務副大臣
○元衆議院憲法審査会会長代理
○埼玉県合気道連盟会長
○埼玉県ボウラーズ連盟会長
○さいたま市ラグビーフットボール協会会長
○浦和レッズ後援会理事

たけまさ公一の主な活動地域 埼玉県第１区

第188回 たけまさ公一と語る会 ～地方選挙直前～

2019年3月17日［日］
14:00～16：00
浦和コミュニティセンター
（浦和パルコ10階）第14集会室
参加費 **無料** どなたでもご参加いただけます
イベントに関するお問い合わせ先
たけまさ公一事務所 048-832-3810

たけまさ公一事務所

さいたま市浦和区北浦和3-6-11松本ビル2F
電話 048-832-3810 FAX 048-832-3846
メール voice@takemasa-k.jp

公式サイト takemasa-k.jp
ツィッター @takemasakoichi
facebookページ takemasatoday
公式LINE@ たけまさ公一